



2025年12月期 第3四半期

補足資料

2025年11月14日（金）

株式会社ビーグリー（Beaglee Inc.）

東証スタンダード：3981

売上高

12,688百万円

(前期比 11.0% 減)

営業利益

1,003百万円

(前期比 28.9% 減)

当期純利益

486百万円

(前期比 32.8% 減)

調整後EBITDA

1,736百万円

(前期比 19.5% 減)

- 売上高は、両セグメントともに減収となったことで、**前期比11.0%の減収**となった。
- 営業利益は、両セグメントともに減益となったことで、**前期比28.9%の減益**となった。
- 事務所移転に係る費用として、**特別損失33百万円**を計上した。
- 当期純利益及び調整後EBITDAは、営業利益の減少に伴い、**前期比で減益**となった。

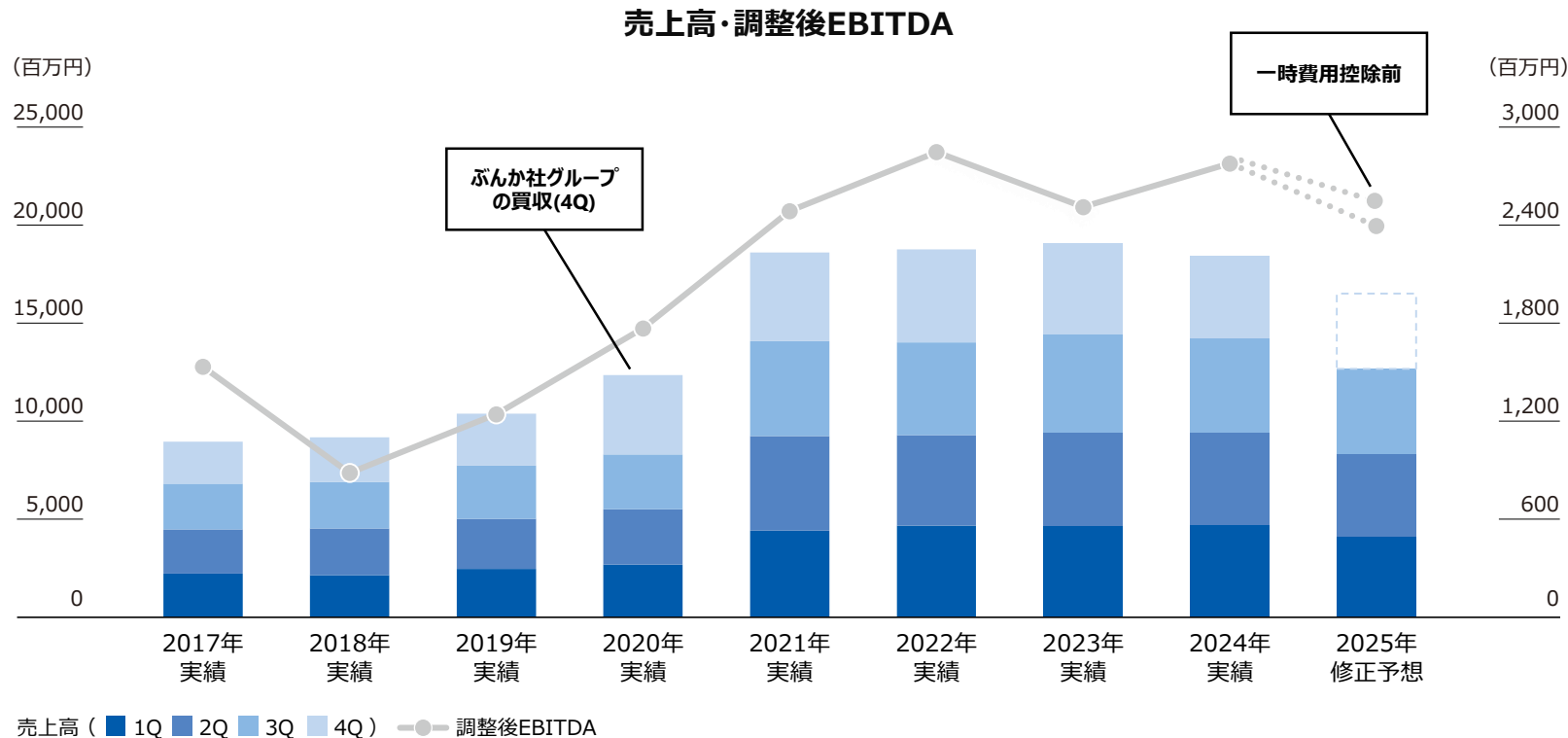
注：調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費（出版権の償却費を含む）＋のれん償却費＋敷金償却費＋株式報酬費用±その他の調整項目

(単位：百万円)

P / L	2024年12月期	2025年12月期	前期比	
	3Q 累計	3Q 累計	増減額	増減率
売上高	14,256	12,688	▲1,568	▲11.0%
営業利益	1,411	1,003	▲408	▲28.9%
経常利益	1,370	968	▲401	▲29.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	724	486	▲237	▲32.8%
1株当たり当期純利益 (円)	120.57	87.16	▲33.41	—
調整後EBITDA	2,158	1,736	▲421	▲19.5%

注：端数処理の都合、合計値は不一致

注：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（著作権の償却費を含む） + のれん償却費 + 敷金償却費 + 株式報酬費用 ± その他の調整項目



注：「2025年修正予想」の売上高は3Qまで実績値、調整後EBITDAは修正予想

注：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（著作権の償却費を含む）+ のれん償却費 + 敷金償却費 + 株式報酬費用 ± その他の調整項目

(単位：百万円)

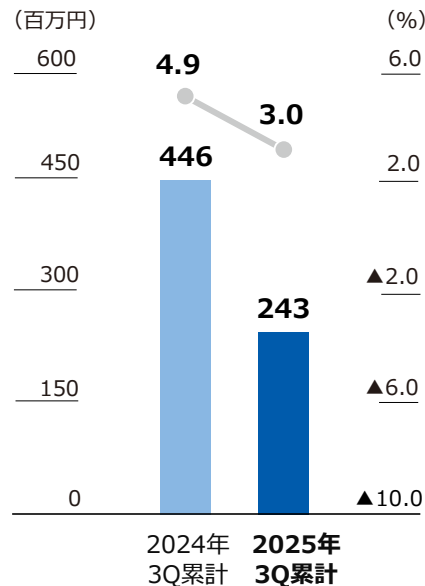
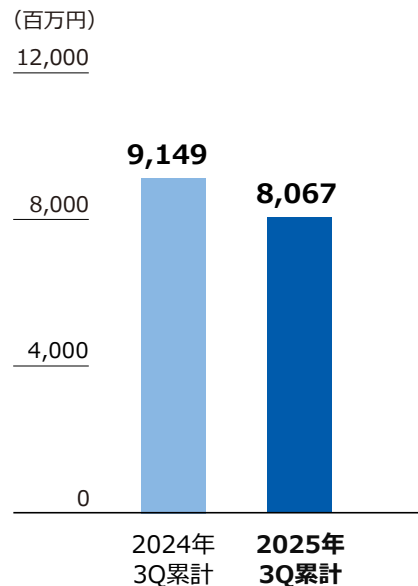
B / S	2024年12月期末		2025年12月期 第3四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	8,579	49.6%	7,851	48.8%	▲728	
固定資産	8,714	50.4%	8,225	51.2%	▲488	のれん 72.9億円 出版権 1.5億円
資産合計	17,294	100.0%	16,077	100.0%	▲1,216	
負債合計	9,808	56.7%	8,213	51.1%	▲1,594	D/E レシオ 0.51
純資産合計	7,486	43.3%	7,864	48.9%	+377	
負債・純資産合計	17,294	100.0%	16,077	100.0%	▲1,216	
自己資本比率	43.3%		48.9%			

注：端数処理の都合、合計値は不一致

プラットフォームセグメント…コミック配信サービス「まんが王国」の運営、まんが王国オリジナル作品のデジタル出版、その他周辺ビジネス

売上高

営業利益・営業利益率

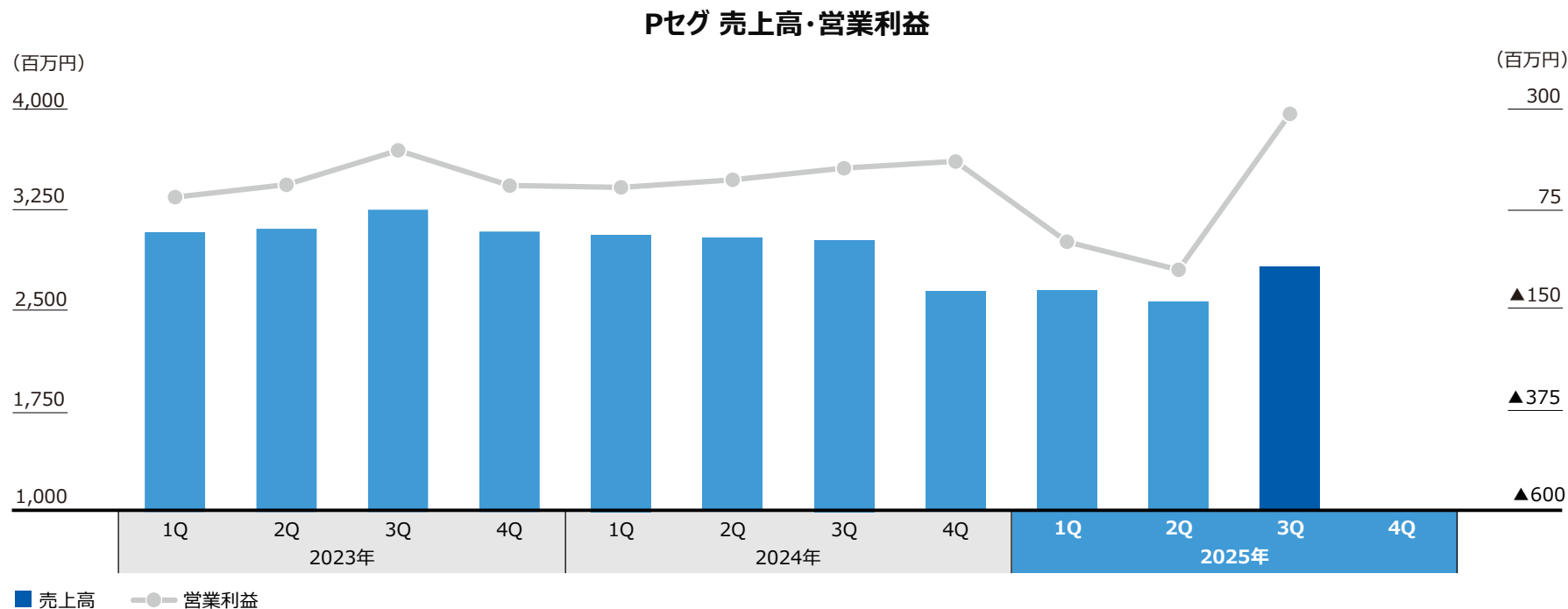


売上高

- 売上高は、『まんが王国』の売上高が、QonQ107%、YonY88%となったことで、QonQ110%、YonY88%となった。
- 第3四半期の売上高は、季節要因による増加及び広告戦略を見直し、既存ユーザーの定着・育成に注力した結果、QonQで増加した。
- ぶんか社との協業作品「妊娠したら死にたくなった～産褥期精神病～」が他社プラットフォームでヒットし、第3四半期の外販売上はYonY186%となった。

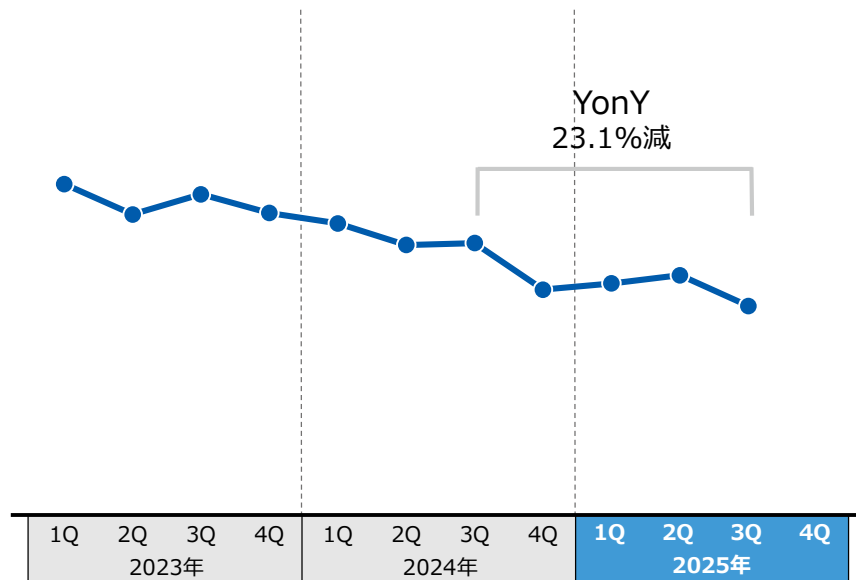
営業利益

- 営業利益は、QonQ+350百万円、YonY▲203百万円となった。
- 広告宣伝費は、効率的な広告運用の実施により、売上を維持しつつ、出稿量を削減できたことで、QonQ▲164百万円、YonY▲288百万円となった。
- 本社移転等に伴う一時費用は、97百万円となった。そのうち、特別損失に33百万円を計上した。



注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

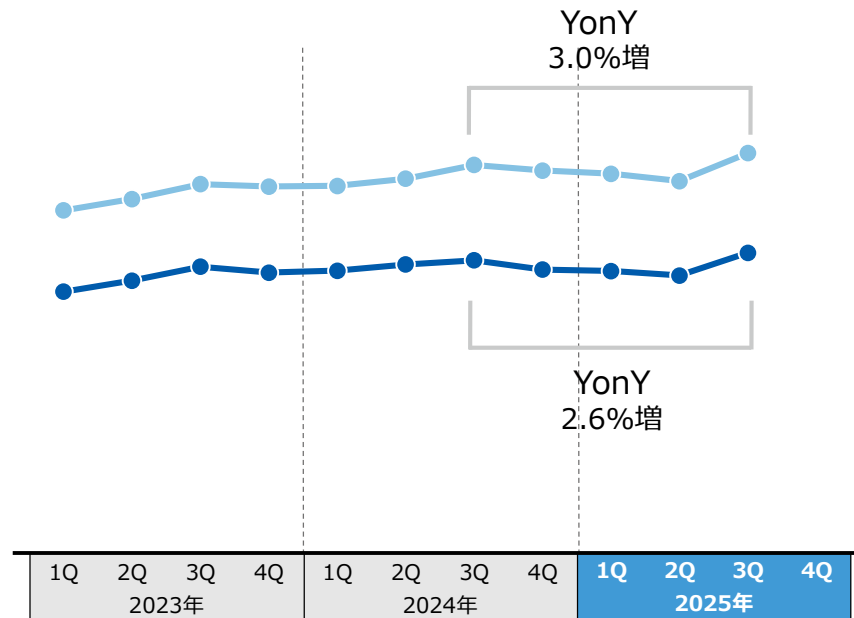
MAU



● MAU

『まんが王国』を訪れた会員数の推移

ARPPU (課金・消費)

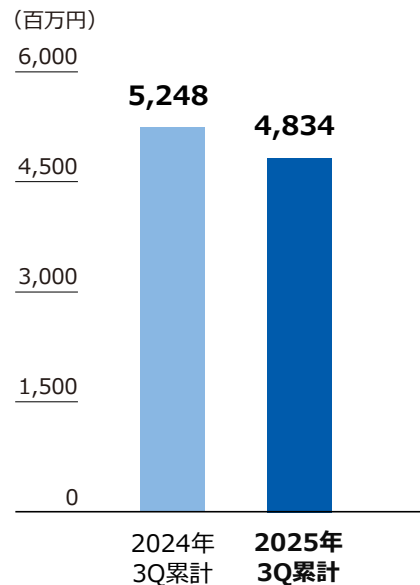


● 課金ARPPU ● 消費ARPPU

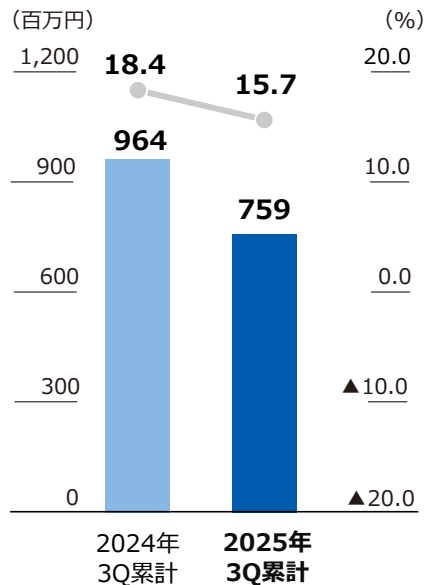
課金額・消費額を有料会員数で割った金額の推移

コンテンツセグメント…ぶんか社を中心とする書籍・雑誌の出版、およびそれらのデジタル出版

売上高



営業利益・営業利益率



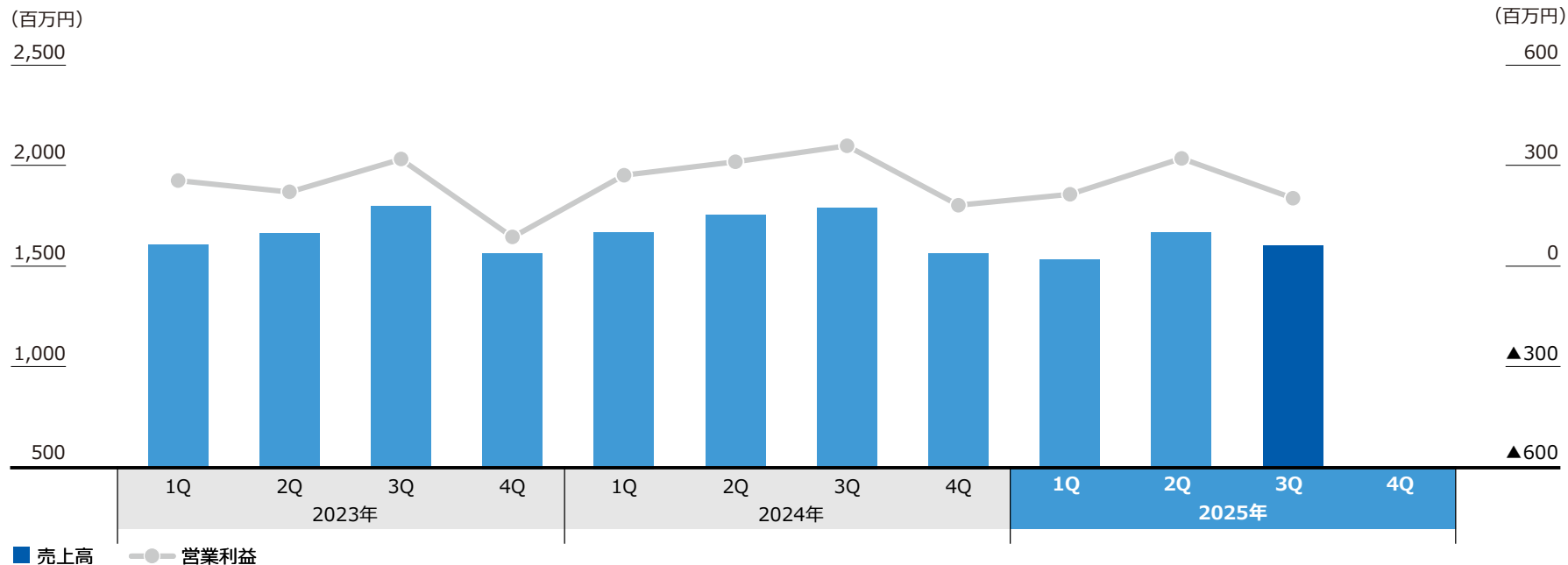
売上高

- デジタル売上高は、新刊による増収効果が限定的となったこと等により、YonY100%の3,782百万円となった。
- 紙出版売上高は、配本部数のコントロールを実施した結果、YonY73%の1,052百万円となった。
- 紙出版売上高が前期比で減少したことで、セグメント売上高はYonY92%となった。

営業利益

- デジタル収益は、原稿料をはじめとした原価が増加したことで、YonYで減少した。
- 紙出版収益は、収益性の改善が進んだものの、紙出版売上高が減少したことで、YonYで減少した。
- デジタル収益が減少したことを受け、セグメント利益はYonY▲204百万円となった。

Cセグ 売上高・営業利益



注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

Cセグ 売上高

(百万円)

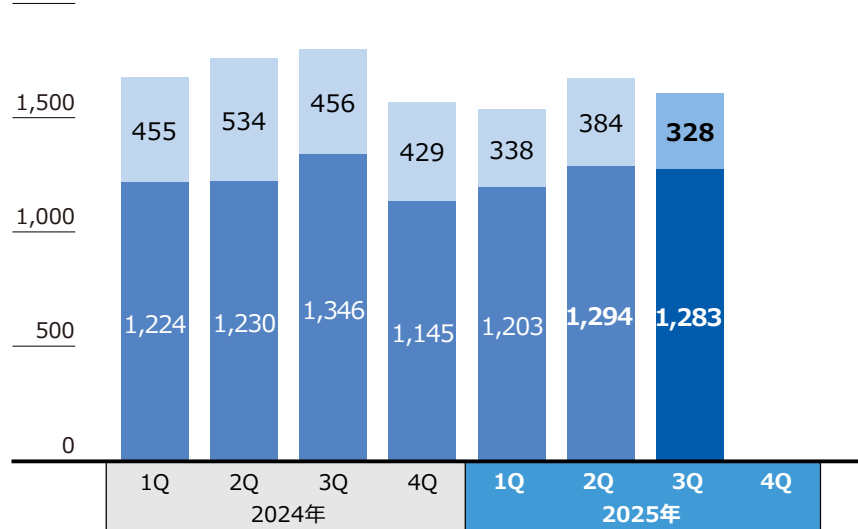
2,000

1,500

1,000

500

0



■ デジタル ■ 出版・その他

注：端数処理の都合、合計値は不一致

デジタル売上高と配信開始時期

(百万円)

5,000

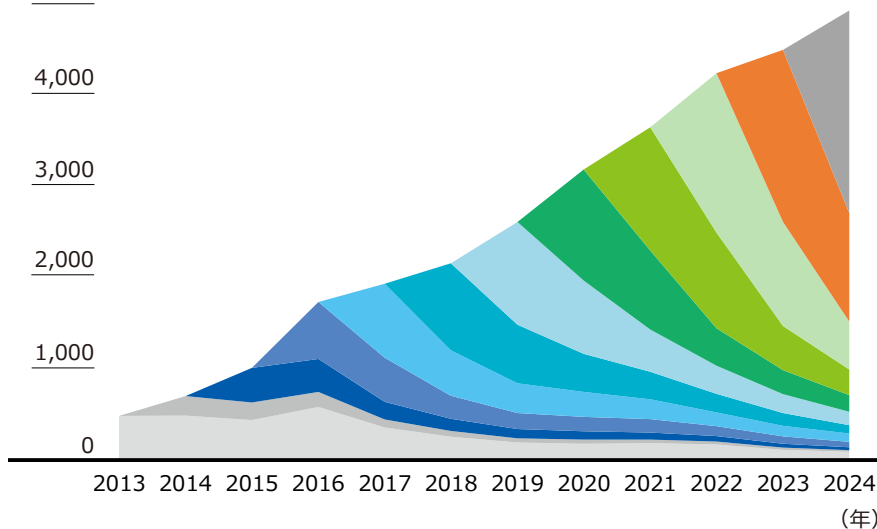
4,000

3,000

2,000

1,000

0



■ 2013年 ■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年 ■ 2018年
 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年

注：管理会計数値のため、財務会計数値と不一致

2025年8月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

（単位：百万円）

P / L	2024年 12月期	2025年12月期		前年同期比		期初予想比	
	実績	期初予想 (2月14日公表)	修正予想 (8月14日公表)	増減額	率	増減額	率
売上高	18,446	19,593	16,463	▲1,983	▲10.8%	▲3,129	▲16.0%
営業利益	1,786	1,764	1,418	▲368	▲20.6%	▲345	▲19.6%
経常利益	1,726	1,709	1,364	▲361	▲21.0%	▲345	▲20.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,303	885	636	▲666	▲51.1%	▲248	▲28.1%
1株当たり当期純利益（円）	220.02	159.02	113.95	▲106.07	－	▲45.07	－
調整後EBITDA	2,783	2,775	2,398	▲384	▲13.8%	▲376	▲13.6%

注：端数処理の都合、合計値は不一致

注：調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費（著作権の償却費を含む）＋のれん償却費＋敷金償却費＋株式報酬費用±その他の調整項目

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー (Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com